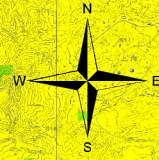


栗原市地震防災マップ

揺れやすさマップ 鶯沢地区

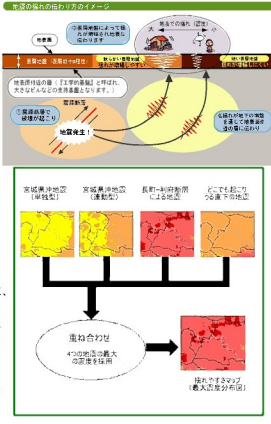
宮城県沖地震(連動型)の場合



■マップの作成手順

このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で、震度(揺れの大きさ)を予測しています。

○地域に影響の大きいと考えられる地震(活断層の地震(長町・利府断層による地震)、海溝型地震(宮城県沖地震(単体型、連動型)、こども起こりる直下の地震)を選び、震源となる断層の規模や位置、形状などの情報を設定します。
 ○それぞれの地震について、地震の規模や震源となる断層までの距離などにより揺れの大きさが異なる性質を用いて、「地震面付近(地下の基礎)での揺れの大きさ」を計算します。
 ○体に感じる「地表での揺れの大きさ(震度)」は、「地震面付近での揺れの大きさ」に「足元(表層の地盤)揺れやすさ」を加味することで求めることができます。一般に、足元の地盤が軟らかいほどまた軟らかいものが厚く堆積しているところほど、地表面で大いなる揺れとなる性質がありますので、「震度」が大きくなります。
 ○このマップでは、全域を100mメッシュに分割し、メッシュごとに地表での震度を詳細に求め、表示しています。



○この揺れやすさマップは、海溝型の地震である宮城県沖地震(連動型)を想定した場合の震度分布を、100メートルメッシュ毎に表示しています。
 ○この地震は、1793年に宮城県沖の広い範囲で同様な地震が起きたとされ、次の宮城県沖地震でも起きる可能性があると考えられています。マグニチュード 8 を想定しています。
 ○なお、ここに示した震度は、地震の規模や震源の距離から予想される平均的な揺れの強さです。地震の発生の仕方によっては、揺れはこれより強くなったり、弱くなったりすることがあります。

栗駒地区

鶯沢地区

花山地区

一迫地区

築館地区

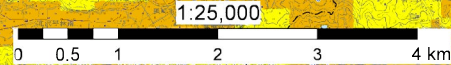
■震度の大きさ＝震度とはなにか？

地震が起こったとき、ある場所での揺れの程度を表すのが震度です。震度の決め方は国によって異なり、わが国では気象庁が定めた気象庁震度による震度を表しています。従来は震度の決め方が気象庁でしかなく、平成17年10月からは気象庁と併せてそれぞれの国・地域・自治体に分けて、10種類の震度計算方法が示されました。また、気象庁が発表する震度は、従来の気象庁震度と併せて、震度や周囲の被害状況などを判断していましたが、最近では震度を算出するための「気象庁」の設置されるようになり、この気象庁の計算方法を計算震度と言います。)*をもちに計算した震度を震度と言っています。

震度	人間	屋内の状況	屋外の状況	木造建物の状況
1	人はいずれも気づかない。			
2	気づく人は多いが、ほとんど気づかない。			
3	気づく人は多いが、ほとんど気づかない。			
4	気づく人は多いが、ほとんど気づかない。			
5	ほとんどの人が気づく。			
6	ほとんどの人が気づく。			
7	ほとんどの人が気づく。			

＜問い合わせ先＞
 栗原市 建設部 建築住宅課
 TEL 0228-22-1153 FAX 0228-22-0313

※このマップにおいて、川・湖沼等の周りや市の境界部等にて、計算上、色の変わっていない箇所があります。



凡例

震度

- 震度2以下
- 震度3
- 震度4
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強(1)
- 震度6強(2)
- 震度6強(3)
- 震度6強(4)
- 震度6強(5)
- 震度7

○地図は、国土院院長の承認を経て、同院長発行の数値地図5000(地図画像)及び数値地図2500(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平19総検 第990号)